

高大連携講座の受講を希望する生徒の皆さんへ

2026年度ユニティ高大連携講座受講生の後期科目再募集について

「ユニティ高大連携講座」は、神戸研究学園都市大学交流推進協議会（ユニティ）を構成する、神戸芸術工科大学、神戸市外国語大学、兵庫県立大学神戸商科キャンパス、流通科学大学、神戸市立工業高等専門学校、神戸市看護大学が、神戸市内の高等学校の生徒に、進路選択の判断、及び教育、知識の向上の一助としていただきたく、大学の授業を公開しているものです。実際の大学の授業を学内で大学生と一緒に受講できるのが特徴です。大学の授業をぜひ体験し、新しい世界を開いてください。

主な内容は、次の通りです。不明な点がありましたら、担当の先生に相談してください。

記

- 主 催 : 神戸研究学園都市大学交流推進協議会（愛称：ユニティ）
- 対 象 : ユニティと協定を結んでいる市内の高校の生徒のうち、継続して受講できる意欲と関心を持ち、高等学校の推薦を受けた生徒。
- 募集講座 : 下記を参照してください。いずれも大学生と一緒に受講します。
講座内容については、ホームページ(<https://www.unity-kobe.jp>)にてご確認ください。
- 開講期間 : 週1回、特定の曜日の1回当たり90分間の講義が開かれます。
放課後の時間が活用できます。
- 場 所 : 科目提供校の学内
- 受講条件 : 原則として1人が受講できるのは、後期2科目です。
- 費 用 : 受講料は無料です。テキスト代等が必要な場合があります。
- 単位認定 : 単位制の高校では、修得単位は高等学校の単位として認定される場合があります。担当の先生に確認してください。

後 期 再 募 集 科 目

科目名	科目提供校	担当教員	曜日	時間
ヨーロッパ地域論	神戸市外国語大学	並河 葉子 教授	月	17:50 ~ 19:20
データサイエンス入門G	神戸市外国語大学	関 陽介 准教授	木	19:30 ~ 21:00
生活と環境 (11月~翌1月)	神戸市看護大学	神谷 訓康 准教授	金	14:50 ~ 16:20

ユニティ高大連携講座の受講にあたって

◆申込方法

受講の申込みについては、所属する高等学校の指示に従ってください。

◆受講場所

科目開設校の学内

◆開講科目・時間

募集講座の表のとおり 科目の概要については時間割の科目名をクリックしてください➡



◆開講期間

後期 9/25(金)～12/24(木)、1/13(水)～ 2/8(月)

上記の日程で 15 回の講義と試験を実施します。

休講等により補講を実施する場合には、担当教員が指示します。

◆休講の取り扱い

担当教員の止むを得ない事情により休講する場合があります。休講は、ユニティへご提供のメールアドレス宛に通知します。なお、14 時現在、下記の気象警報等の発令または運休区間がある場合には休講となります。

①交通機関

大阪-姫路間で次のいずれかに該当する場合

- (1) JR 西日本（大阪-神戸間）、阪急電鉄、阪神電鉄のすべてに運休区間がある場合
- (2) JR 西日本（神戸-姫路間）、山陽電鉄のすべてに運休区間がある場合

②気象警報（詳細は下記の[休講となる気象警報の一覧]の表をご確認ください）

神戸市のいずれかの行政区（東灘区、灘区、中央区、兵庫区、北区、長田区、須磨区、垂水区、西区）に以下の（１）～（３）のいずれかの気象警報が発表されている場合

- (1) 特別警報
- (2) 危険警報
- (3) 警報（暴風、暴風雪、大雪、土砂災害のみ）

※「大雨警報」は対象としていませんので注意してください。

（ただし、天候事情等により通学が不可能もしくは危険なために欠席した場合は、欠席届を生徒から講義担当教員に提出）

[休講となる気象警報等の一覧]

1. 警戒レベルにあわせて発表される情報

警戒レベル	土砂災害	大雨	高潮	河川氾濫
5	特別警報	特別警報	特別警報	特別警報
4	危険警報	危険警報	危険警報	危険警報
3	警報	警報	警報	警報
2	注意報	注意報	注意報	注意報
1	早期注意情報	早期注意情報	早期注意情報	早期注意情報

2. 警戒レベルなしで発表される情報

警戒レベル	暴風	暴風雪	大雪	波浪
—	特別警報	特別警報	特別警報	特別警報
	警報	警報	警報	警報
	注意報	注意報	注意報	注意報

 休講対象

◆公欠の取扱い

次の場合は公欠の取扱いとしますので、所属高等学校の高大連携講座の担当の先生に公欠届を作成してもらい、UNITY 事務室に提出してください。

- ① 2 親等以内の親族死亡の場合（会葬状を添える）
- ② 高等学校行事（高等学校の定期試験〔試験期間の前日から終了前日まで〕、クラブ活動の公式試合、大会を含む）に参加する場合
- ③ その他、講座部会部会長が適当と認めた場合

◆修了証等

受講科目について、出席日数が授業回数の 3 分の 2 以上あれば、受講修了を証する修了証を交付します。高等学校が必要な場合は、成績の評価をします。